

幸せのワンシーンをいつまでも

料理屋の  
おいしい話

vol.11



「料亭義経」「割烹きの屋」に関わる人たちが、店、食材、日本料理、文化について語り合う対談企画。義経では、神殿誕生と同時に写真撮影のプランも始まりました。なぜ料理屋が写真まで？ 専属カメラマンと語ります。



家族の思い出が  
色あせないように

— 今回のゲストは義経の料理を毎月撮影している竹井さんです。私もこの撮影現場に毎回同席していて、高山さんの写真に対する熱意をひしひしと感じるのですが、なぜそこまでこだわるのですか？

**高山** なぜでしょうね(笑)。写真が好きなんです。広告物でお客様に何かを伝えるとき、大事なものは写真だと思っています。当店の料理をおいしそうに思っていたくだけでなく、単純にきれいだなと感動してもらいたいんですよね。

**竹井** 私は料理を専門に撮ってきましたが、盛り付けを1ミリ単位で手直しする料理人の方に初めて会いました(笑)。

— 神殿の完成を機に、義経では写真プランの提供も始まりました。この写真も竹井さんが撮影されるそうですね。

**竹井** 実は私が写真の道に本格的に進んだのは、人物撮影がきっかけ。22歳のときにある結婚式のスナップを依頼され、アルバムにして差し上げた



義経でのアルバム制作  
10,000円～  
(オープン記念価格)

たらずごく喜ばれたんです。お客様に大きな喜びを与えられて、感動の現場に立ち会える。素晴らしい仕事だと思いました。今は料理が専門だけど、人物撮りはそのときの感動まで残すことができる気がして、やりがいを感じています。

**高山** 写真はそのときの思い出を呼び起こしてくれます。例えば当店で七五三のお祝いをしたとしましう。家族で食事をした思い出とか、料理の味とかは時が経つと薄れていってしまうですが、写真を見ればよみがえります。そういういくつもの思い出の重なりは、大きな財産になるのでは。

義経のすべてが  
写真スタジオです

— 義経での撮影はどのように行われるのですか？

**竹井** 神殿での神事を受けられる方はそこから撮影。それとお食事のお部屋でご家族の記念撮影と食事風景を撮っていきます。神事の様子も撮れるのは義経ならではです。

**高山** 神殿と個室以外も背景にしたいですか？

**竹井** 料亭がスタジオになるなんて面白いですね。この景観を自由に使って記念撮影することで記憶を色濃く残せると思います。



義経・きの屋代表  
高山将士

鹿屋市出身の37歳。18歳で上京、日本料理店での修行を経て、家業を継ぐため帰郷。料亭義経、割烹きの屋を経営。



フォトデザインカルミア代表  
竹井知子

鹿屋市出身。23歳で写真の道を志し、鹿児島市の商業写真事務所へ弟子入りする。2011年、鹿屋にて独立。

— 撮った写真はどのような形で提供されるのでしょうか。

**竹井** アルバムとお部屋に飾れる額縁入りを用意しています。どちらかひとつを選ぶプランと、ご両親へのプレゼント用を含めたプランがあります。写真、データも差し上げます。

— その内容だと義経を写真館のように利用してお客様が出てくるかもしれませんね(笑)。

**高山** 全然問題ありません(笑)。食事はしないで写真だけのご利用もありです。

**竹井** 大将のそういう革新的なところ、すごいと思います(笑)。これまでにないサービスなので、私にとっても挑戦。新しい写真の形を作っていましたね。

— 神殿の新設も、写真撮影導入も、家族の絆を深める手伝いがしたいという料理屋としての姿勢が根本にあるのだと思いました。竹井さん、本日はありがとうございました。

料亭義経

鹿児島県鹿屋市向江町15-13  
☎0994-41-3500 月曜定休  
11:30-14:30、18:00-22:00  
●ご家族のお祝い事にもどうぞ。



料亭義経

きの屋

YOSHITSUNE  
KAPPDO  
KINOYA  
鹿児島県鹿屋市新川町601-2  
☎0994-41-3502 月曜定休  
11:30-14:00、18:00-22:00  
●単品メニューをご用意あります。



割烹きの屋

